

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月23日

上場会社名 養命酒製造株式会社
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月30日

(氏名) 塩澤 太朗
 (氏名) 田中 英雄

上場取引所 東 名
 TEL 03-3462-8125

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,990	—	2,155	—	2,390	—	1,520	—
20年3月期第3四半期	10,754	6.0	2,546	25.2	2,765	23.9	1,662	5.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	47.97	—
20年3月期第3四半期	52.24	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	35,992	—	31,404	—	87.3	—	993.65	—
20年3月期	36,938	—	31,705	—	85.8	—	999.90	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 31,404百万円 20年3月期 31,705百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	18.00	18.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,920	2.7	2,099	△19.3	2,352	△17.1	1,439	△13.4	45.41

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 33,000,000株 20年3月期 33,000,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,394,733株 20年3月期 1,291,290株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 31,689,907株 20年3月期第3四半期 31,833,993株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を端緒とした世界的な金融不安の影響が実体経済にも強く反映し、株式・為替市場が大きく変動する中、企業収益の悪化により雇用情勢にも急速に厳しさが増す状況となりました。

当社の関連業界におきましては、流通業界の再編、業種・業態を超えた企業間競争、生活防衛意識の高まりによる個人消費の一層の落込み等、予断を許さない情勢が続いております。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」ことを経営理念とし、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針とした経営計画に取り組んでおります。

当第3四半期（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）の「養命酒」事業につきましては、11月から12月にかけてテレビスポットや新聞を中心とした広告と、店頭における販売促進を連動した活動を集中的に展開いたしました。この活動の中で、東洋医学における「未病」という概念の定着に努めるとともに、「冷え」や「疲れ」の改善に対する提案を継続的に行いました。また、各種イベントへの参加、ウェブの積極的な活用等、薬酒文化の浸透を目指した活動にも取り組み、様々な媒体を効率的に活用したトータルマーケティング活動を行いました。海外事業につきましては、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動を一層強化するための体制を整備いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の主力商品「養命酒」の売上は、個人消費に停滞感が一段と強まる中、堅調に推移して前年同期を上回り、不動産賃貸料及びその他の売上を合算いたしまして、その売上は10,990百万円（前年同期比2.2%増）となりました。一方、利益面につきましては、売上原価と広告宣伝費等の販管費が増加したことにより、営業利益は2,155百万円（前年同期比15.4%減）、経常利益は2,390百万円（前年同期比13.6%減）となりました。また、保有資産の見直しによる社有地売却の特別利益の計上により、四半期純利益は1,520百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

*上記の前年同期比は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ945百万円減少し、35,992百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1,533百万円増加した一方で、たな卸資産が127百万円、有形固定資産が220百万円、保有株式の時価評価額が1,930百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ644百万円減少し、4,587百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が757百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ300百万円減少し、31,404百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が949百万円増加した一方で、自己株式の取得91百万円、その他有価証券評価差額金が1,158百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前期末に比べ593百万円減少し、4,562百

万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益 2,461 百万円、減価償却費 561 百万円、売上債権の増加 1,533 百万円、未払費用の増加額 201 百万円、法人税等の支払額 1,040 百万円などにより 614 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入 1,500 百万円、有形固定資産の売却による収入 181 百万円があった一方で、定期預金の預入（預入と払戻の純額）による支出 800 百万円、有形固定資産の取得による支出 400 百万円、投資有価証券の取得による支出 1,000 百万円などにより、542 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出 91 百万円、配当金の支払額 573 百万円などにより 665 百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 10 月 24 日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定的方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号）を当第 1 四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,692,181	1,585,388
受取手形及び売掛金	4,411,549	2,877,797
有価証券	5,900,440	7,301,890
商品及び製品	250,668	363,317
仕掛品	155,670	144,505
原材料及び貯蔵品	257,306	283,822
その他	336,916	240,818
流動資産合計	15,004,734	12,797,539
固定資産		
有形固定資産	7,212,206	7,433,141
無形固定資産	222,717	259,349
投資その他の資産		
投資有価証券	10,182,192	11,545,533
その他	3,374,144	4,906,106
貸倒引当金	△3,539	△3,539
投資その他の資産合計	13,552,796	16,448,100
固定資産合計	20,987,720	24,140,591
資産合計	35,992,454	36,938,131
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	283,371	250,851
未払法人税等	426,630	539,535
賞与引当金	129,648	253,564
その他	2,173,727	1,775,425
流動負債合計	3,013,378	2,819,377
固定負債		
繰延税金負債	632,609	1,389,618
役員退職慰労引当金	50,850	83,600
その他	891,065	940,059
固定負債合計	1,574,524	2,413,277
負債合計	4,587,902	5,232,654

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	29,736,453	28,787,171
自己株式	△1,588,992	△1,497,027
株主資本合計	30,474,140	29,616,823
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	930,411	2,088,652
評価・換算差額等合計	930,411	2,088,652
純資産合計	31,404,552	31,705,476
負債純資産合計	35,992,454	36,938,131

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,990,804
売上原価	3,372,807
売上総利益	7,617,996
販売費及び一般管理費	5,462,235
営業利益	2,155,760
営業外収益	
受取利息	59,335
受取配当金	171,128
その他	24,546
営業外収益合計	255,010
営業外費用	
支払利息	17,408
その他	2,515
営業外費用合計	19,923
経常利益	2,390,847
特別利益	
固定資産売却益	102,076
特別利益合計	102,076
特別損失	
固定資産除却損	27,817
投資有価証券評価損	3,220
特別損失合計	31,038
税引前四半期純利益	2,461,885
法人税、住民税及び事業税	931,000
法人税等調整額	10,846
法人税等合計	941,846
四半期純利益	1,520,038

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	2,461,885
減価償却費	561,767
賞与引当金の増減額(△は減少)	△123,915
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,750
受取利息及び受取配当金	△230,463
支払利息	17,408
有形固定資産売却損益(△は益)	△102,076
有形固定資産除却損	27,817
投資有価証券評価損益(△は益)	3,220
売上債権の増減額(△は増加)	△1,533,751
たな卸資産の増減額(△は増加)	127,998
仕入債務の増減額(△は減少)	32,520
未払費用の増減額(△は減少)	201,899
未払消費税等の増減額(△は減少)	94,965
その他	△45,417
小計	1,461,108
利息及び配当金の受取額	217,447
利息の支払額	△23,010
法人税等の支払額	△1,040,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	614,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	200,000
有価証券の償還による収入	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△400,728
有形固定資産の売却による収入	181,459
無形固定資産の取得による支出	△23,310
投資有価証券の取得による支出	△1,000,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△542,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,050,000
短期借入金返済による支出	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△91,965
配当金の支払額	△573,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△593,206
現金及び現金同等物の期首残高	5,155,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,562,181

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日
	金 額
I 売 上 高	10,754,451
II 売 上 原 価	3,045,995
売上総利益	7,708,456
III 販売費及び一般管理費	5,161,582
営業利益	2,546,873
IV 営業外収益	252,246
V 営業外費用	33,158
経常利益	2,765,961
VI 特別利益	262
VII 特別損失	18,340
税引前四半期純利益	2,747,883
法人税、住民税及び事業税	1,085,000
四半期純利益	1,662,883

(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
	金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益		2,747,883
減価償却費		416,378
賞与引当金の増加額		127,359
役員賞与引当金の減少額	△	30,000
退職給付引当金の減少額	△	106,384
役員退職引当金の減少額	△	10,000
受取利息及び受取配当金	△	228,929
支払利息		21,234
有形固定資産売却益	△	262
有形固定資産売却、除却損		18,340
売上債権の増加額	△	1,405,232
たな卸資産の増加額	△	96,120
仕入債務の増加額		94,726
未払費用の増加額		95,638
未払消費税等の増加額		28,231
その他		2,200
小 計		1,675,063
利息及び配当金の受取額		225,541
利息の支払額	△	23,646
法人税等の支払額	△	1,143,338
営業活動によるキャッシュ・フロー		733,619
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△	830,724
有形固定資産の売却による収入		1,807
無形固定資産の取得による支出	△	96,908
投資有価証券の取得による支出	△	6,127
その他	△	40,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	971,952
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		1,050,000
短期借入金の返済による支出	△	1,050,000
自己株式の取得による支出	△	165,564
配当金の支払額	△	538,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	704,471
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の減少額	△	942,804
VI 現金及び現金同等物の期首残高		7,445,240
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高		6,502,436

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

売上高明細表

(単位：千円)

品 目	前第3四半期累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		当第3四半期累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日		前事業年度 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
	数 量	売上金額	数 量	売上金額	数 量	売上金額
養 命 酒	K L 7,022	10,484,999	K L 7,207	10,729,903	K L 8,848	13,209,162
(うち輸出分)		(403,586)		(419,120)		(522,173)
不 動 産 収 入		132,145		121,803		173,985
そ の 他		137,306		139,096		173,319
合 計		10,754,451		10,990,804		13,556,466

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。